

新年ご挨拶



全国 B.M.C. 副会長 長野 広起

皆様、新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

さて、私こと、来月に開催されます冬期総会にて全国 B.M.C. の会長を仰せつかります、ホテルオークラ東京の長野広起と申します。歴史ある B.M.C. の大任を拝命、精一杯この重責を果たしてまいり所存でございますので、皆様の温かいお力添えの程、何卒宜しくお願い申し上げます。

昨今の我々現場を取り巻く環境は、人手不足問題や働き方改革推進など、厳しい課題への対応が求められる中、本年 2019 年は、新天皇陛下の御即位、ラグビーワールドカップ開催など国家的行事に加え、消費税増税など歴史的な節目を迎えることとなります。

さらには、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催、2025 年には大阪万博の開催と、MICE 案件は大幅な増加の一途を辿っていくことでしょう。もはやバンケット国内市場のグローバル化は避けられない時代になることと思います。この激動の時代を乗り越えていくには、さまざまな視点から抜本的に体制を改善・強化をしていかなければならないと感じております。HRS(日本レストラン・サービス技能協会)や BIA(日本ブライダル文化振興協会)等としっかり連携をとり、定期的な情報共有と各種勉強会を開催することで、一人一人が高いスキルを習得し自身のサービスマンとしての価値を高めることが必要だと考えております。その積み重ねが、バンケットサービス業界全体の発展へと繋がり、ひいては各施設様のブランド価値向上、そして B.M.C. の存在感や信頼感の強化に繋がると考えております。

そしてなによりも、「現場力の強化」これに尽きると考えております。この強化実現のための重要項目として、一つ“ベストサービスの伝承”一つ“女性活躍推進のための職場作り”一つ“グローバル化に沿ったサービススタイルの確立”これら意識の全スタッフへの浸透と体制作りが非常に大切と考えております。この3つの重要項目を掲げ、バンケットサービスの社会的地位を高めること、つまり憧れる職場になることを目標と致します。

いずれにしましても、一人の力では成し得ないことでございますので、One for All, All for One の精神で会員全員の幅広いご支援とご指導を賜りたく、ご協力のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



東京 B.M.C. 会長 鈴木 一郎

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

一昨年、東京 B.M.C. は満50歳の節目を迎え、新たな50年に向けて歩き出しました。

また同年の秋には、貴協会との共同開催による講習会「食卓のプロトコール基本編」を開催し、料飲・宴会サービスに従事する皆様から大きな反響をいただきました。

約1年半後に迫る東京オリンピック・パラリンピックに向けて、東京地区は更に注目される都市となってまいります。以降、5年後には大阪での万博も決定いたしました。

今後、全国的に更に多くの海外からの要人が日本全国に来日されると予想されますが、そういった環境の基、プロトコール講習会を全国に広めるべく貴協会との更なるグリップ強化を諮り、若手の育成を第一に、東京 B.M.C. として「ホテル、レストランの料飲・宴会サービスの技術向上」に協力し、活動していきたいと思っている次第でございます。

これを成し遂げるためには、相互協力は不可欠であるとともに、実際に体験の場を持たなければならないと考えております。

「食卓のプロトコール」応用編の開催を視野に入れ、内容のある体験企画をしていければ人材の育成はもとより、ホテル・レストランサービスの技術向上に少しでも寄与するものと確信しております。

本年も、料飲・宴会サービスの発展となる一年になりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。